

九月十七日(月) 西集会所

席題 お題「音」

橘 正清選

葬送の調べ高まるモノづくり 千 楽
 騒音にまみれて育つ都会っ子 哲 子
 いびきまでズレる音域不整脈 充
 音程を外ずし心でうたう人 よし尚
 音無くし観る世界へと移行中 乃り子
 せせらぎの音聞く人の寿命のび 春 代
 音沙汰が無いのは無事と言い切れぬ 幸 男
 セキュリティ思わぬことでピーと鳴る えいじ
 害虫の音に姑の小言甦る 広 子
 秀むなしいが些事に動悸が邪魔をする 勝 利
 軸爽籟と云って風情が姦しい 正 清

宿題 お題「本」(連記)

*字結び可 前田幸男選

ツン読の山が崩れて救急車 千 楽
 行間に愚痴と自慢を埋めておく 正 清
 清張に一度はハマる点と線 乃り子
 週刊誌尾ひれがついてよく売れる アキラ
 午前二時源氏肴にボージョレイ 広 子
 暑ささけ図書館散歩ブラブラと 春 代
 趣味読書スマホでマンガ読んでます よし尚
 震度七やとふんぎり本捨てる 充
 本棚に淡い思い出しまつてる 哲 子
 珍らしい写真載ってる専門書 えいじ
 例えばの話に本音入れてある よう子
 秀脚本に無い人生を演じてる 勝 利
 軸図書館の常連となる猛暑日や 幸 男

宿題 自由吟(共選)

勝部乃り子選

深酔し酒の功德を説く相棒 よし尚
 生きざまに頭が下がる名女優 哲 子
 チャンピオン涙の中にまことあり 哲 子
 二人して漕いだペダルが軋み出す 広 子
 休みなし東へ西へボランティア 千 楽
 生きるため積木なんども積み直す よう子
 トシなのに又呑み会と妻イヤミ よし尚
 裏表心の内は裏ばかり 幸 男
 あぶく銭叩いて買った名誉職 勝 利
 雑草は無欲ながらの意地がある 勝 利

酷暑にも風にも負けず栄誉賞 千 楽
 ゲルニカのリバーシブルというしじま 正 清
 秀もう一度撒き餌してみる倦怠期 よう子
 軸少しズラして二人過ごせばピント合う 乃り子

宿題 自由吟(共選)

林 勝利選

十五日終わって笑うのが相撲 アキラ
 生きざまに頭が下がる名女優 哲 子
 出しぬけに夏の終りに老いを知る 乃り子
 猛暑日で蚊の出ない日に農作業 充
 少しズラして二人過ごせばピント合う 乃り子
 二人してこいだペダルが軋み出す 広 子
 革命の弾倉にある猜疑心 正 清
 生き抜いた誇りの一つこの白髪 アキラ
 もう一度撒き餌してみる倦怠期 よう子
 ゲルニカのリバーシブルというしじま 正 清
 パワハラがいま日本では大人気 幸 男
 酷暑にも風にも負けず栄誉賞 千 楽
 秀積年のお転婆論す股関節 広 子
 軸雑草は無欲ながらの意地がある 勝 利

宿題 お題「残る」(互選)

② 後世にきれいな地球残したい えいじ
 妻のため金は残さず子を残す 幸 男
 残りものに福化石にうじがわく 正 清
 夫送りばあちゃん世界飛びまわる 広 子
 生き抜きて取り残される虚しさや 幸 男
 敗残のむなしさ秘めて生きている 勝 利
 散骨をしてカルシウム壺の底 正 清
 ③ 決めました遺影に残すこの写真 春 代
 今日の憂さ明日に残せずネオン街 アキラ
 残ってる気力出しきり最終章 乃り子
 ④ グーグルに負けずに凶鑑生き残る よし尚
 ⑥ オオサカを歴史に刻むナオミさん 千 楽
 ローン残やと終われば二人きり よし尚
 ⑦ ラブレター残してあるという威し よう子
 喜寿傘寿ころろ変える遺言書 広 子
 ⑧ 秀ぼんやりと残り時間を食べている よう子

*互選「残る」 若い方は少ないから、やむを得ないでしょうが。「取り残される」「敗残」といった、わびしい言葉が目立った。

せめて、こう行きましょう。 ↓↓

「夫送りばあちゃん世界飛びまわる（広子）」

（千）*

鹿ノ台川柳教室会員の新聞投句 掲載された句

（八月二十日〜九月十六日各紙掲載分）

毎日新聞 山田順啓選

八月三十日 題「覚える」

一夜漬覚えた知識身に付かず

勝利

九月十三日 題「料理」

褒められて伸びた腕前今日の味

乃り子

読売新聞 阪本高士選

八月二十六日 題「水」

濁流におろちが二匹溺れてる

正清

九月二日 題「騒ぐ」

幽霊もお盆に來れば羽目ははずす

正清

九月十六日 題「読む」

不条理を詠めば茶色の虫になる

正清

奈良新聞 居谷真理子選

八月二十二日 題「ピンチ」

マル秘メール送信先を間違えた

アキラ

通帳にあと一ヶ月我慢しろ

よう子

オレお前ピンチを好むへそ曲がり

英二

凍り付く場がユーモアで動き出す

千楽

満塁にスリーボールの汗が出る

正清

八月二十九日 題「ずるい」

やさしさにずるさが透けて見えるひと

英二

会長が判定決めるボクシング

アキラ

鶉がとった魚横取りするヒト科

よう子

ドローンが見てる不正のパーパット

正清

九月五日 題「芸」

アリバイはばつちり後は演技力

よう子

上司よりちよつと音痴に唄う歌

英二

田園にアートワールド早場米

正清

九月十二日 題「じわり」

戦争の出来る国へとまた一歩

英二

頑固さをそつと自分で微調整

アキラ

じんわりとブレーキかけて日々歩む

よう子

台風は追いつめられて日本へ

幸男

奈良新聞 自由吟

九月十三日 米田恭昌選

過労死を手帳が語る小さい文字

よう子

気持ちだけ心という字まるく書き

幸男

土の匂いの農高生に魅了され

アキラ

胃の残溜に世紀の臭いがする

正清

* 橘正清、林勝利、前田幸男、

三氏は各紙の短歌俳句でも活躍

次回 十月十五日、十二時十五分開場、西集会所

宿題は「甘い」、「歴史」、「自由吟」 各二句

* 席題選者 正清 十二時三十分「お題」発表

* 「歴史」（連記） 選者 登美

* 「自由吟」（共選） 選者 良一 えいじ

* 「甘い」（互選）

出句、宿題・席題 とも十三時

自治連合会公認クラブとして活動

「ご自分の生活を、思うことを、五七五に

句会のご見学、ご入会大歓迎、

会費一ヶ月百円です

自治連合会ホームページに句会内容掲載中

問合せ

原 広子（79・0061）

野々村詮（090・6961・1292）